

キヤノン株式会社
2024年経営方針説明会

イメージンググループ

2024年3月8日

専務執行役員 イメージンググループ副管掌

戸倉 剛

Canon

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

イメージンググループ事業分野

イメージングの役割を「撮る・見る」から、「体験する」、「活用する」へ広げ、
新しい事業領域を作る

体験する

活用する



撮る・見る

PL推移

売上 (億円)

12,000

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

2025年目標
 売上 9,300億円以上
 営業利益率 17%以上

6,535

8,035

8,616

9,008

9,300

12.0%

15.8%

16.9%

16.3%

17%

21年

22年

23年

24年

25年

- ネットワークカメラ他
- カメラ
- 営業利益率

2023年の成果と課題および今後2年間の戦略・取り組み

2023年の成果と課題

■ 成果

- イメージンググループ : 大幅な増収増益 売上8,616億 (対21年+31.8%) 利益率16.9% (対21年+4.9%)
- カメラ : レンズ交換式カメラ21年連続シェアNo.1を維持
: エントリーモデル『EOS R50』『EOS R100』を加え、EOS Rシステムのラインアップ裾野拡大
- ネットワークカメラ : アクシスが大幅な増収で売上記録を更新
- その他新規事業 : 3Dイメージング領域への取組み強化
: SPADセンサー搭載の超高感度カメラ『MS-500』を発売

■ 課題

1. 世界的なインフレや不安定な世界情勢の中で、成長継続と高収益性の維持
2. 2Dから3Dなどイメージングを巡る多様化する価値観、ニーズ、鑑賞形態への対応



今後2年間の戦略・取り組み

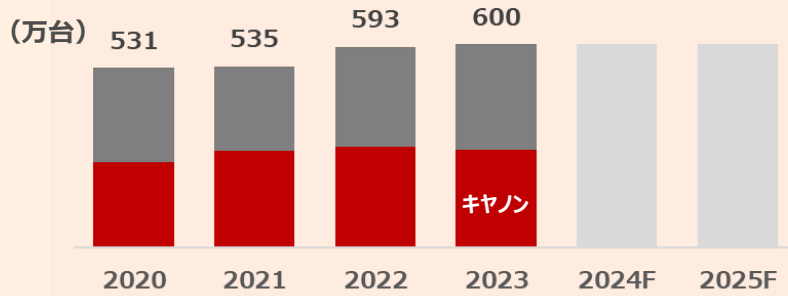
1. ミラーレスカメラ市場での絶対的な地位を確立
2. グループ連携によるネットワークカメラ事業の拡大
3. 生産性向上による利益体質の強化
4. 3Dイメージング領域への展開に向けたシステム拡充

1. ミラーレスカメラ市場での絶対的な地位を確立

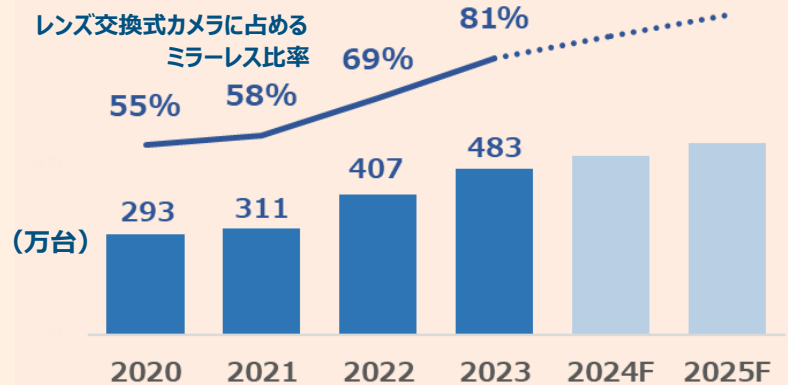
EOS Rシステムのフルラインアップ展開により、圧倒的なMLシェアNo1を実現する

レンズ交換式カメラ市場

2003-2023年
21年連続シェアNo.1

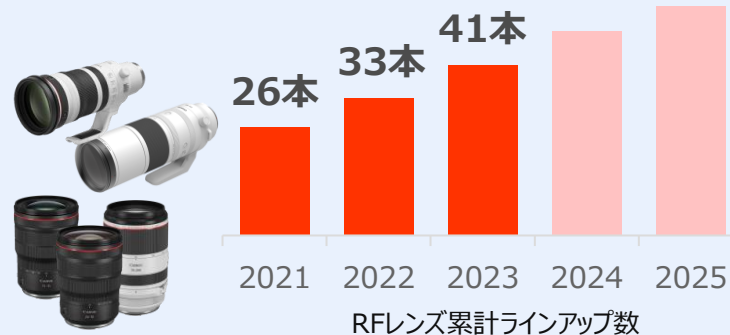


内、ミラーレスカメラ市場



出典：2020-23年 CIPA出荷数量、2024-25年 キヤノン想定

EOS Rシステムの更なる拡充



クリエイター



2. グループ連携によるネットワークカメラ事業の拡大

キヤノングループのシナジーを推進し市場での地位を強化する

【ネットワークカメラ市場】

セキュリティから映像ソリューションへ拡大し2桁成長

【キヤノングループ施策】

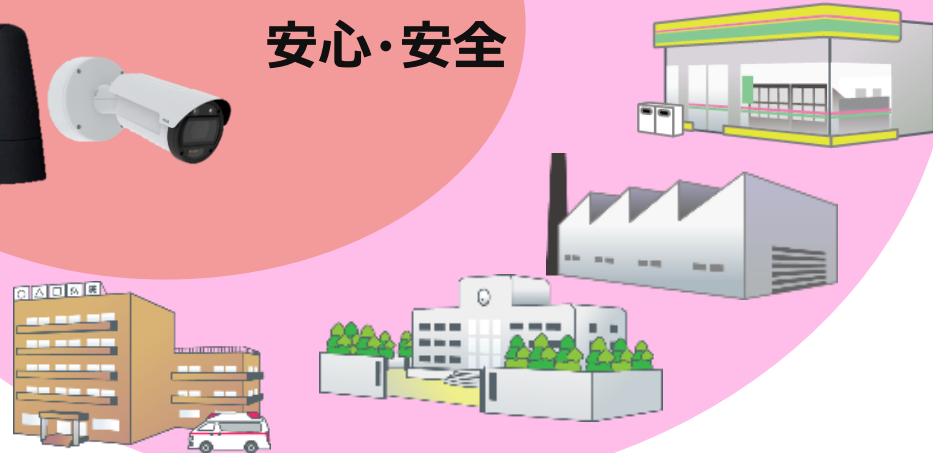
ハードとソフトのトータルソリューションを強化

映像ソリューション市場

生産性向上
人手不足解消
熟練業務代替

セキュリティ市場

安心・安全



ハード 圧倒的なネットワークカメララインアップ°

Canon



AXIS
COMMUNICATIONS



ソフト 業界屈指の映像管理・解析ソリューション

◆ milestone

arcules



BriefCam

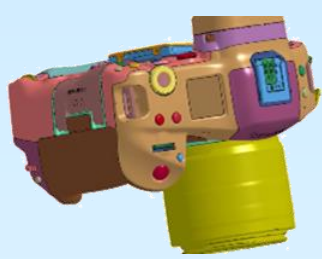


3. 生産性向上による利益体質の強化

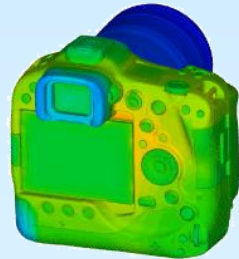
最先端技術を活用し、効率的開発・最適生産の体制を構築する

【効率的開発体制】

シミュレーション活用

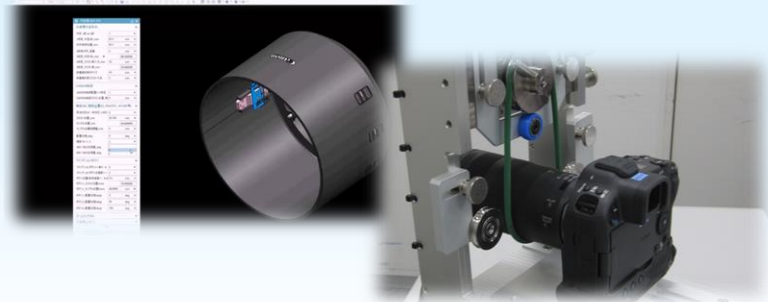


落下衝撃



熱

自動化

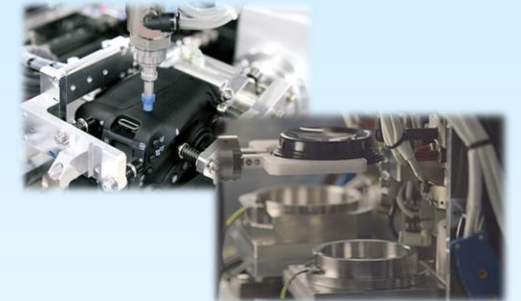


【最適生産体制】

DX対応



自動化



内製化



4. 3Dイメージング領域への展開に向けたシステム拡充

入出力連携を通じこれまでにない臨場感と没入感を提供

ボリュメトリックビデオ

広い撮影エリアと
多人数のリアルタイム3D生成



3D配信有償サービス
実現・強化

EOS VR SYSTEM

レンズならではの
高画質VR映像撮影



コンテンツ視聴体験拡大
システム拡充

MREAL

デジタル立体イメージと
現実世界の違和感ない融合



導入領域拡大
システム拡充